

ヨド大型倉庫 框ドア 組立説明書

●施工前にこの組立説明書を必ずお読みください。

1 前準備

框ドアを取り付ける部分の胴縁・水切りは下図の通り現場カット、調整をしてください。
また框ドアを取り付ける部分と、その対面のブレースは取り付けません。

胴縁

下から3本目までを下図の寸法でカットします。

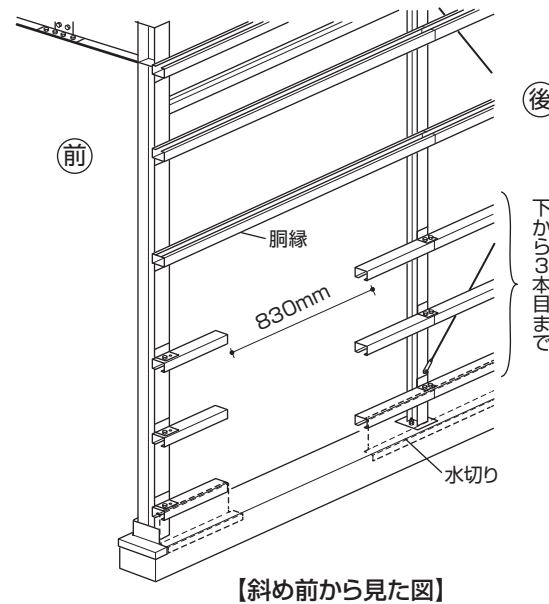
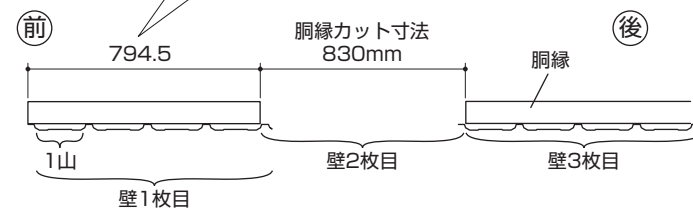


注意 胴縁の本数は機種によって異なりますが、カットする本数は同じです。

【平面図】前から2枚目の壁に取り付ける場合



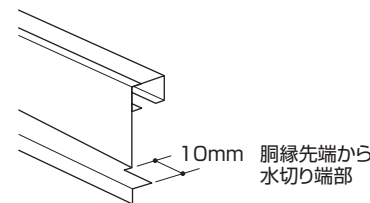
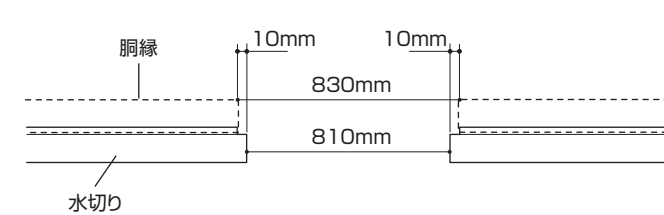
ポイント 取り付け位置を壁1枚ずらす場合はこの寸法から+800mm、1山分ずらす場合はこの寸法から200mmずらした寸法になります。



【斜め前から見た図】

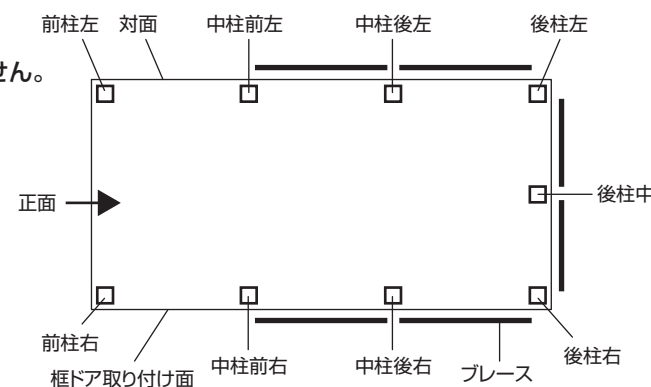
水切り

胴縁先端に水切りの立ち上がりが合うようにカットします。
その際に水切り端部は10mm出るように加工します。



ブレース

框ドアを取り付ける部分とその対面はブレースを取り付けません。



【取り付け例】

梱包組合せ表

梱包番号	梱包数
LPH2-1852	1
LPH2-1855	1
SO2-6121	1
SO2-6122	1
MH5-1613	1



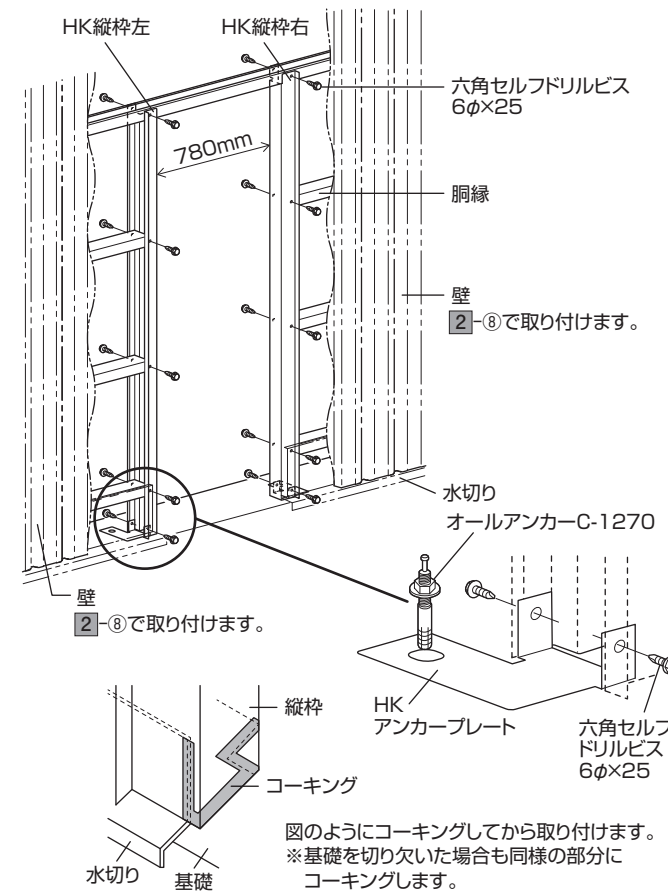
注意 現場カット、調整の位置は、壁の施工精度によって誤差が生じます。本体組説⑫壁の注意文を参照し、正しく施工してください。

2 スチール枠の取り付け

①HK縦枠を胴縁に取り付けます。水切りも同時に固定します。

②HK縦枠の下端にHKアンカープレートを取り付けます。

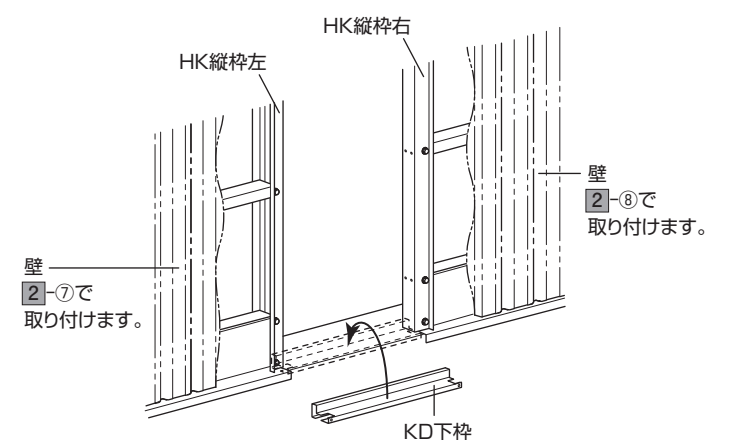
オールアンカー-C-1270でHKアンカープレートを基礎に固定してください。



注意 縦枠の間隔は下図の寸法になるよう調整し、垂直に取り付けてください。



③KD下枠をHK縦枠の間の基礎の上に仮置します。

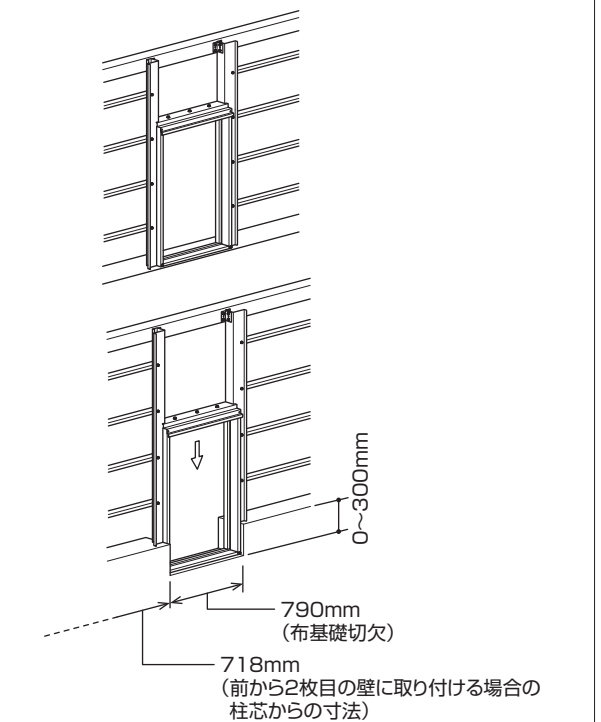


使用ボルト

- ①六角セルフドリルビス6φ×25
- ②六角セルフドリルビス6φ×25
- オールアンカー-C-1270

基礎を切り欠いて高さを調整する場合

- ・基礎は下図の寸法で欠きます。(高さ0～300mm)
- ・HK縦枠以外の部材を基礎に合わせた位置までずらし、通常と同様の手順で固定します。



注意 上図は説明のため、壁がない図を使用しておりますが施工順序は通常と同じです。

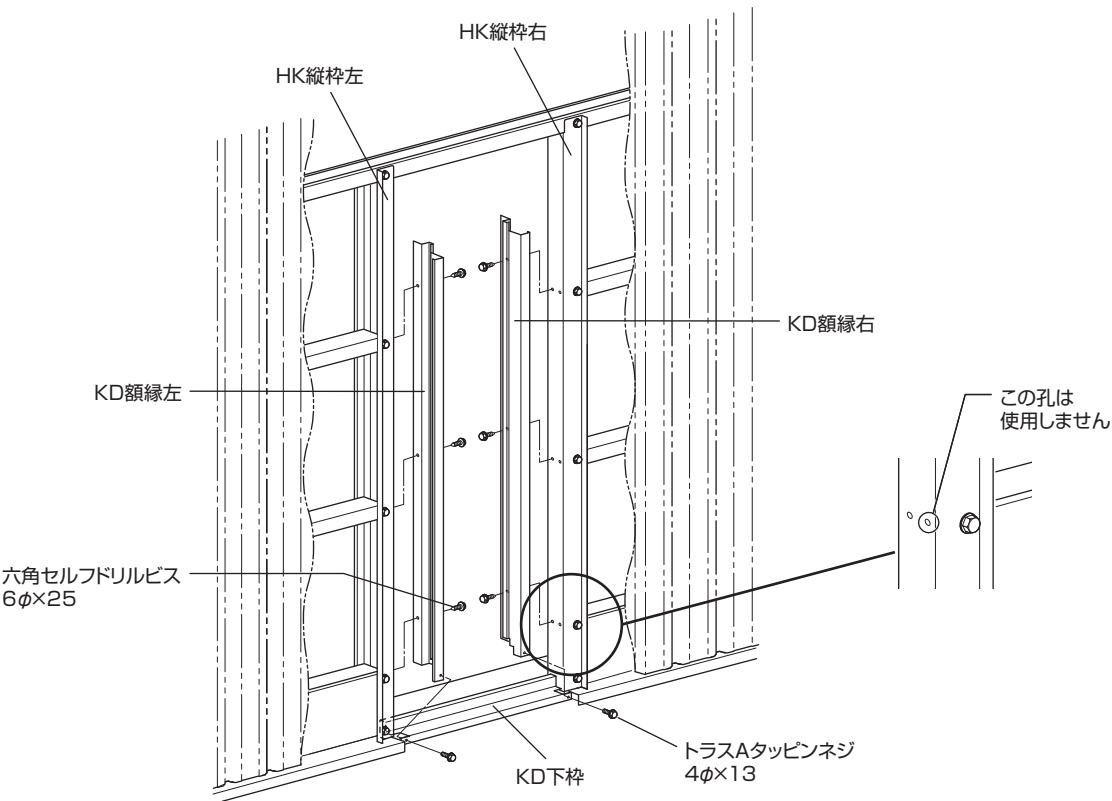
④KD額縁をKD下枠に差し込み、HK縦枠に固定します。

⑤KD額縁をKD下枠に固定します。

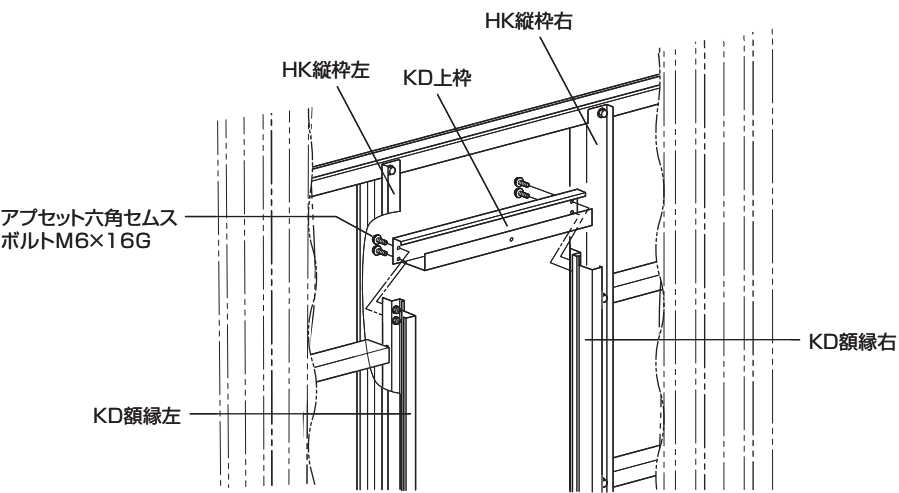
 注意

下枠が基礎と水平になっているか、額縁上端の高さが揃っているか確認してから固定してください。

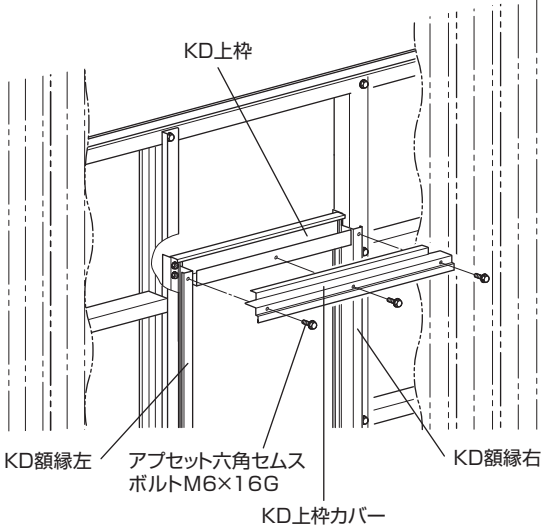
使用ボルト
④六角セルフドリルビス6φ×25
⑤トラスAタッピンネジ4φ×13
⑥⑦アプセット六角セムスボルトM6×16G



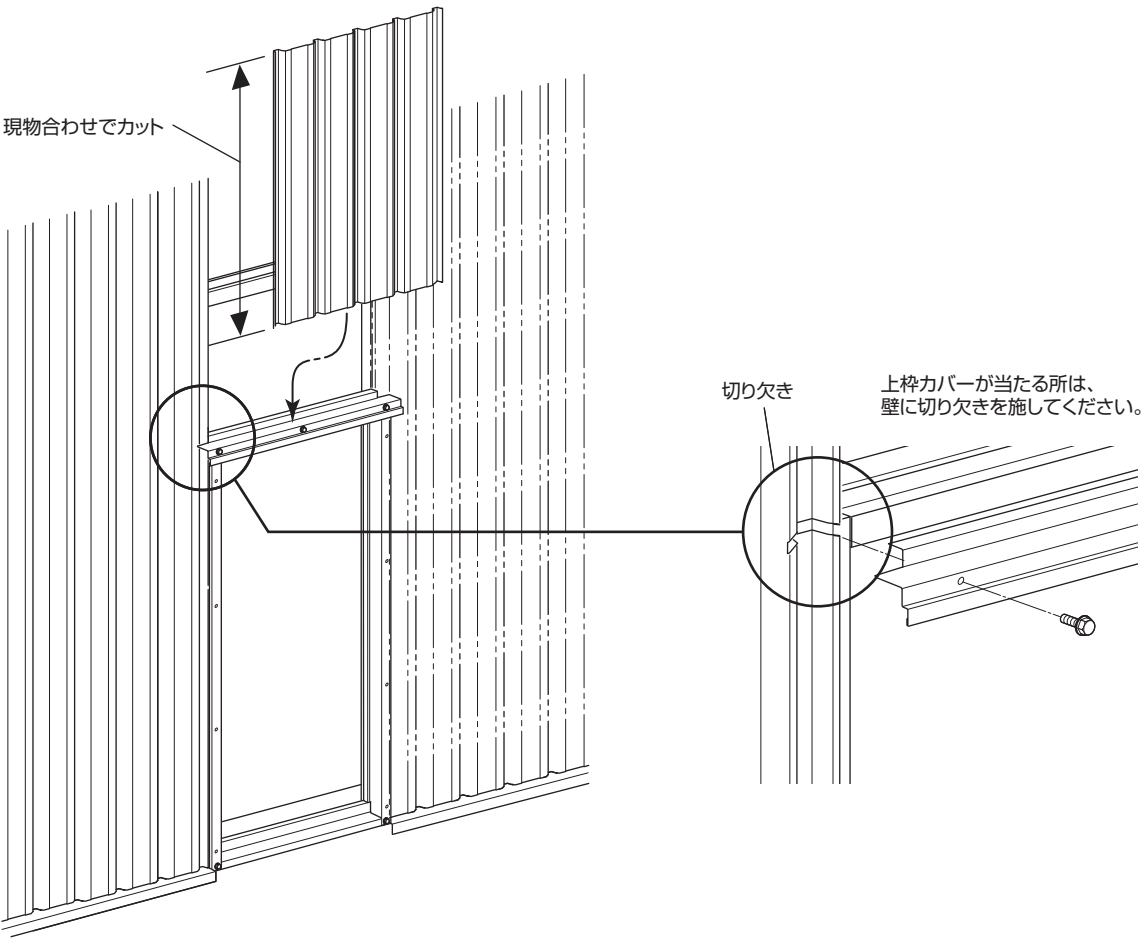
⑥KD額縁にKD上枠を内側から取り付けます。



⑦KD上枠カバーをKD額縁、KD上枠に取り付けます。



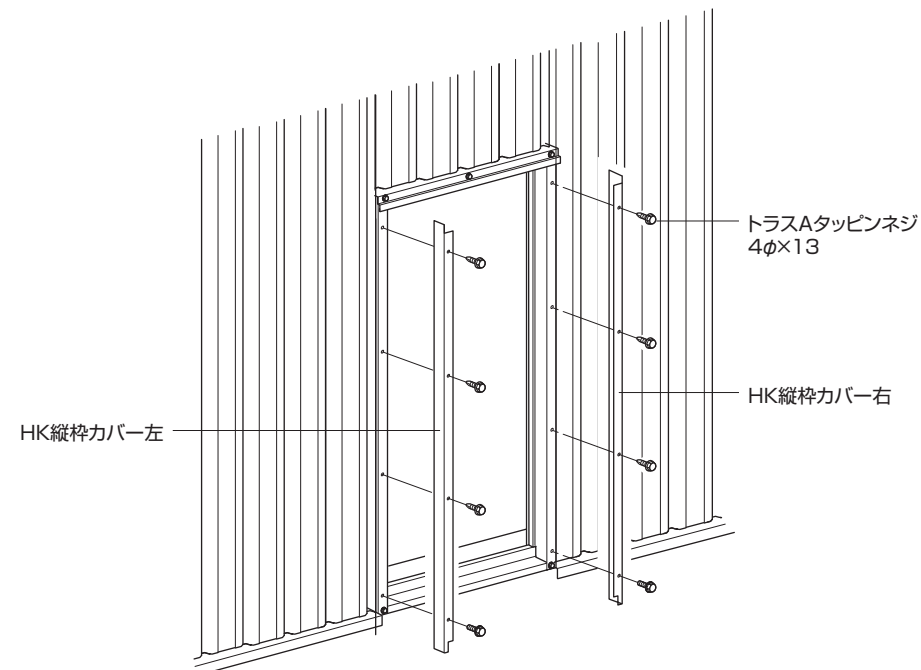
⑧壁を現物合わせでカットし、取り付けます。



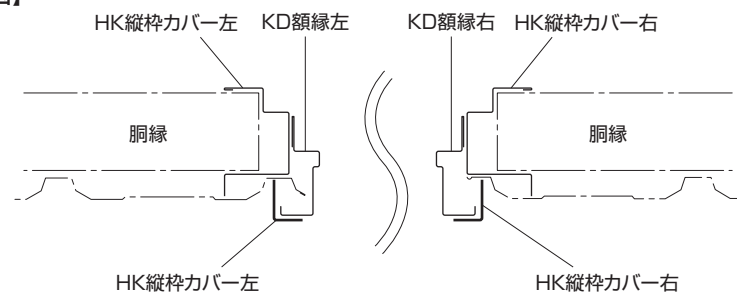
3

縦枠カバーの取り付け

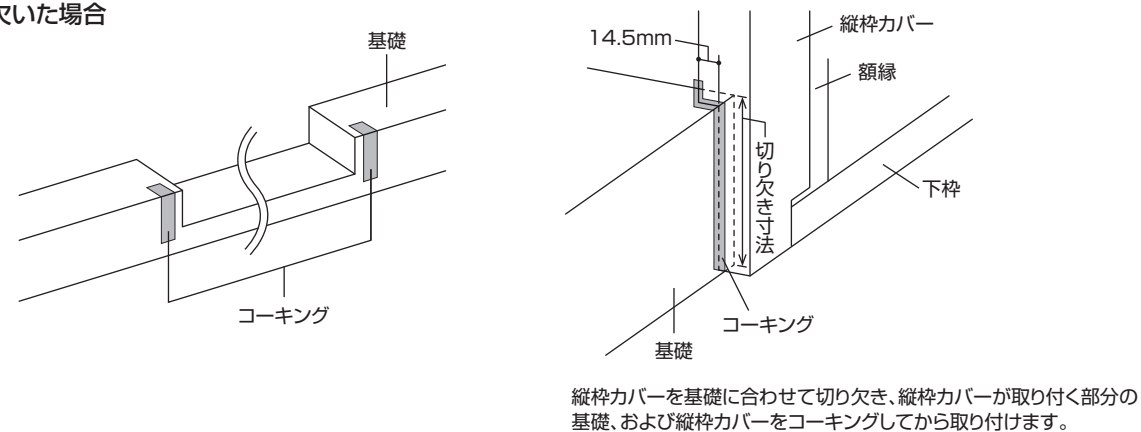
①HK縦枠カバーを額縁に取り付けます。



【断面図】



基礎を切り欠いた場合

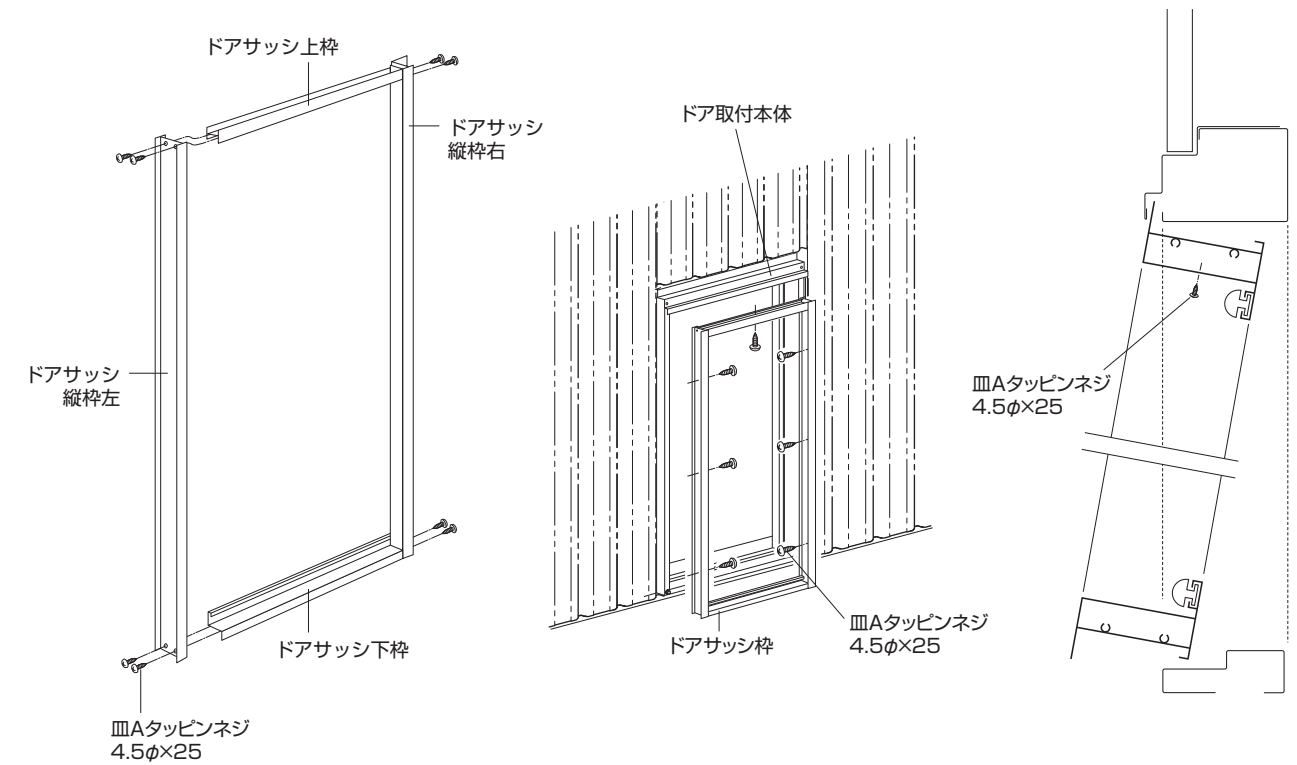


4

サッシの取り付け

①サッシ枠を組みます。

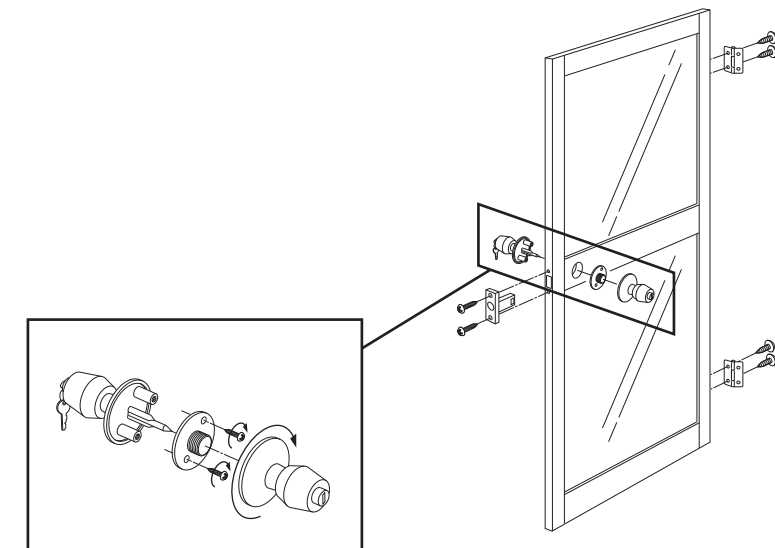
②スチール枠にサッシ枠を取り付けます。



③ドア本体に錠セットを取り付けます。

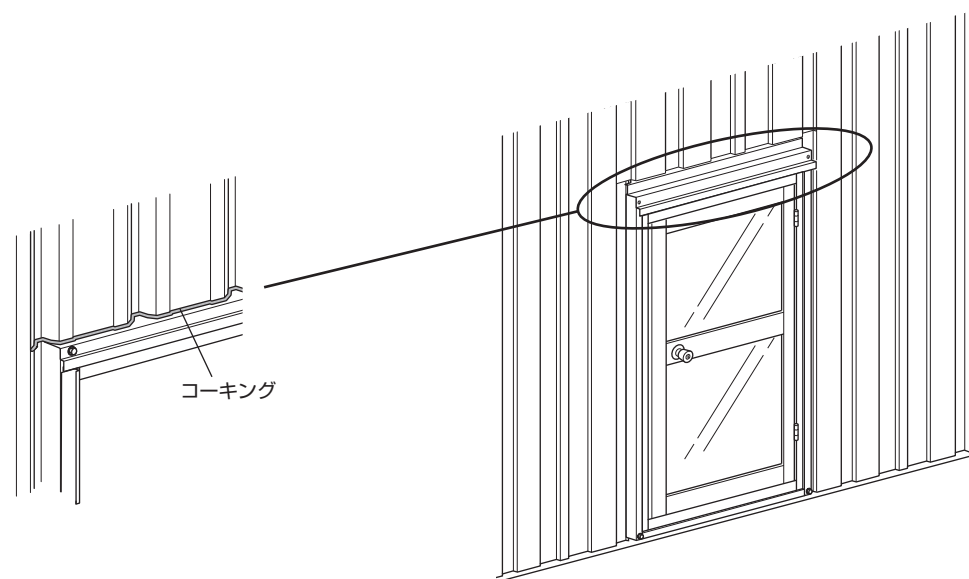
④ドアクローザーを取り付けます。

取付方法はドアクローザー梱包(MH5-1613)に同梱されている組立説明書をご参照ください。

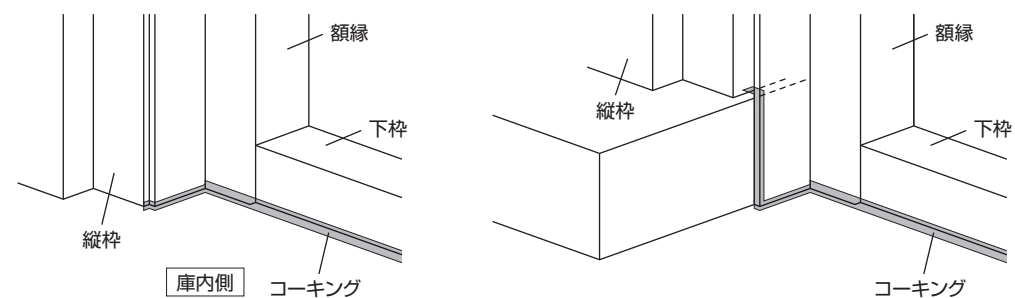


5 コーキング

スチール枠と壁の取り合い部などに、水が入らないようにコーキングします。



【スチール枠と壁】



【標準】

【基礎を切り欠いた場合】

基礎の立ち上がりにもコーキングします。

【基礎とスチール枠】